

# 基礎輪講に向けて

杉本研究室  
菊地 高史



# 項目

---

- 研究室年間スケジュール
- 基礎輪講について
- 基礎輪講を通して学んでほしいこと
- 基礎輪講の流れ

# 杉本研B4年間スケジュール例

---

- 2-3月：基礎輪講
- 4月：追実装
- 5月：IVRC企画書提出
- 6月：第1回英語輪講，IVRC2次，（大学院口頭試問）
- 7月：第2回英語輪講，本番輪講
- 8月：夏合宿，（大学院入試）
- 9月：ISMAR（ミュンヘン），卒業研究スタート
- 11月：斎藤研合同合宿
- 12月：中間発表
- 1月：卒論提出，卒業研究発表

# 斎藤研B4年間スケジュール例

---

- 2-3月：基礎輪講
- 4月：追実装
- 5月：第1回英語輪講
- 6月：第2回英語輪講，（大学院口頭試問）
- 7月：本番輪講
- 8月：（大学院入試）
- 9月：ISMAR（ミュンヘン）
- 11月：杉本研合同合宿
- 1月：卒論提出，卒業研究発表

# 基礎輪講について

---

- 研究を始める前の研修期間

日程(コアタイム:10時～17時)

第1週:2月16日～20日

第2週:2月24日～27日

第3週:3月9日～13日

第4週:3月16日～20日

※遅刻・欠席の場合は [b4\\_all@hvrl.ics.keio.ac.jp](mailto:b4_all@hvrl.ics.keio.ac.jp)

連絡ください.

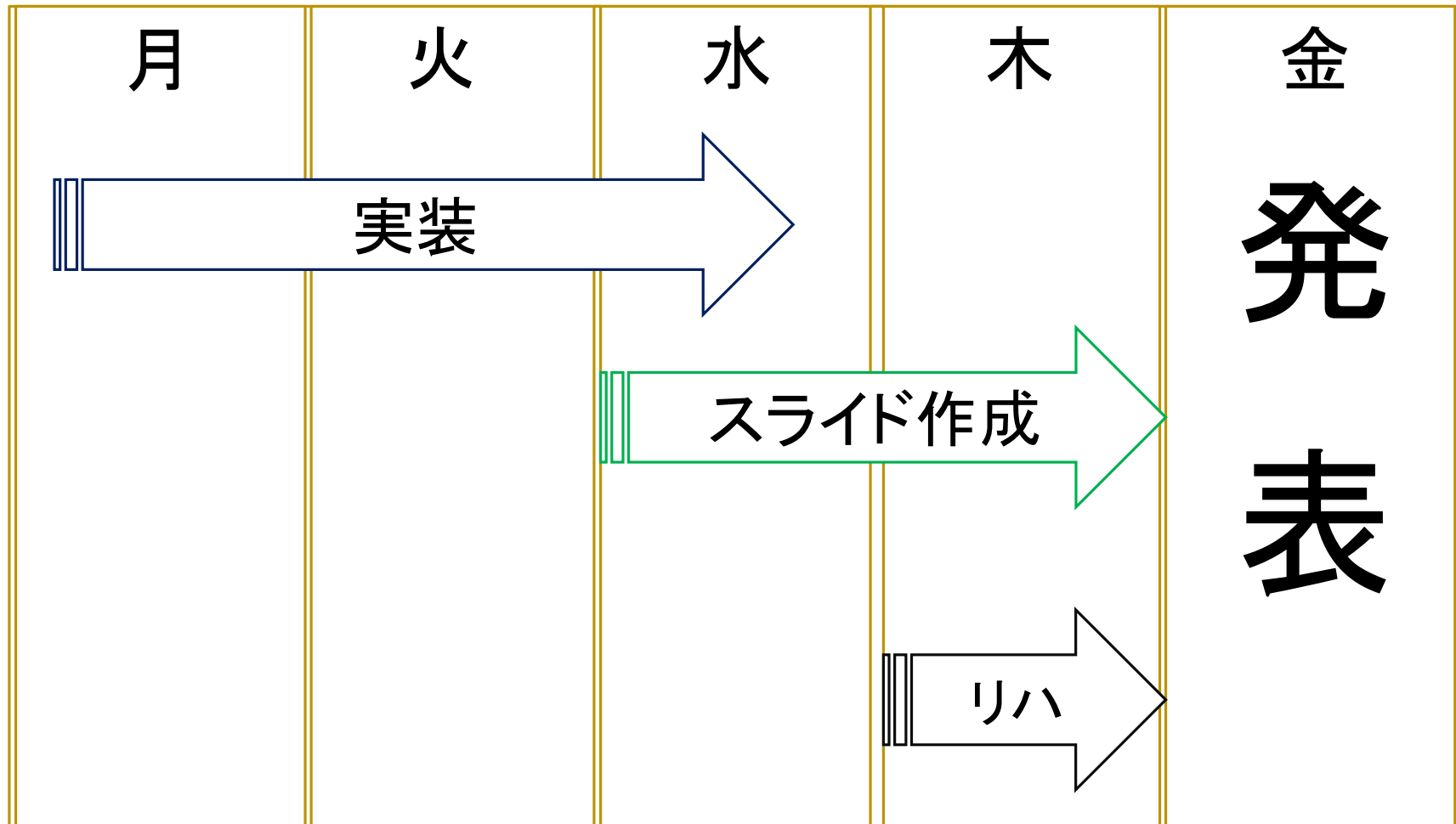
# 基礎輪講で学んでほしいこと

---

- 実装
  - ・画像処理のプログラミングに慣れる.
  - ・わからない処理の調べ方(緑本, Google etc)
- 発表
  - ・わかりやすいスライドの作り方
  - ・相手に伝わる発表の仕方



# 基礎輪講の流れ



# 講義

- 新M1の先輩による講義
- 各週のはじめに実施
- 各週に扱う内容についての簡単なレクチャー



# 実装

---

- Visual Studioで実装
- 基本的にC++を使用
- ライブラリの使い方に慣れよう



# PowerPointの作成



# 発表スライド

---

- PowerPointで作成
- 1週間の学習内容を発表
- チェック&修正の繰り返し
  - 良いスライドに
  - 積極的に先輩に見せてアドバイスをもらおう

**■ 一番時間がかかる！！！！**

# リハーサル & 発表

- 発表時間は1人10分
- 発表練習を繰り返し、内容やスライドを修正
- 発表後、先輩(, たまに先生)からの質問タイム



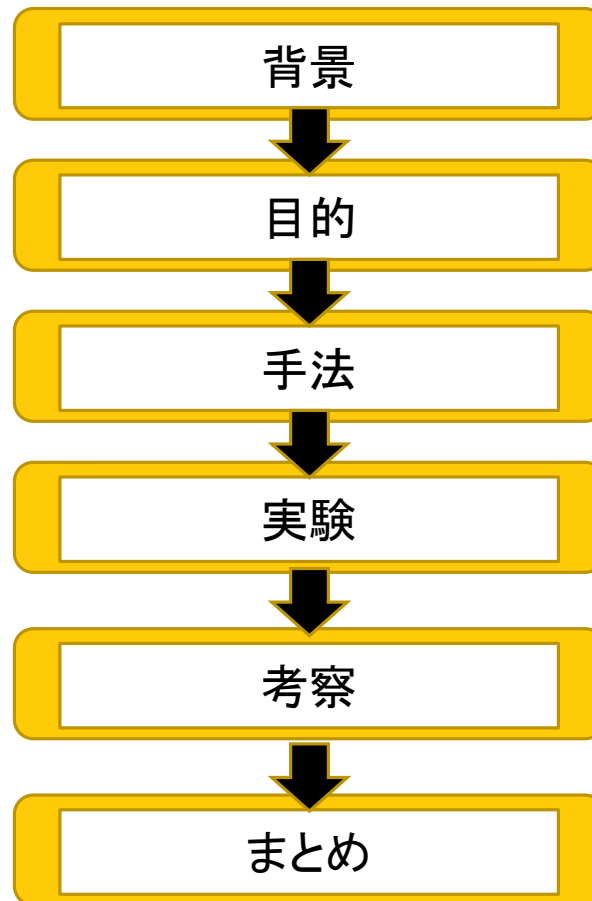
# 発表で説明して欲しいこと

---

その週扱った内容について・・・

- その画像処理がどのような処理なのか？
- 主にどのような用途で用いられるのか？
- 実装において自分が工夫した点
- 処理の結果, どのような効果が得られたのか？
- 得られた結果が妥当であるか？
- 複数の結果画像の比較

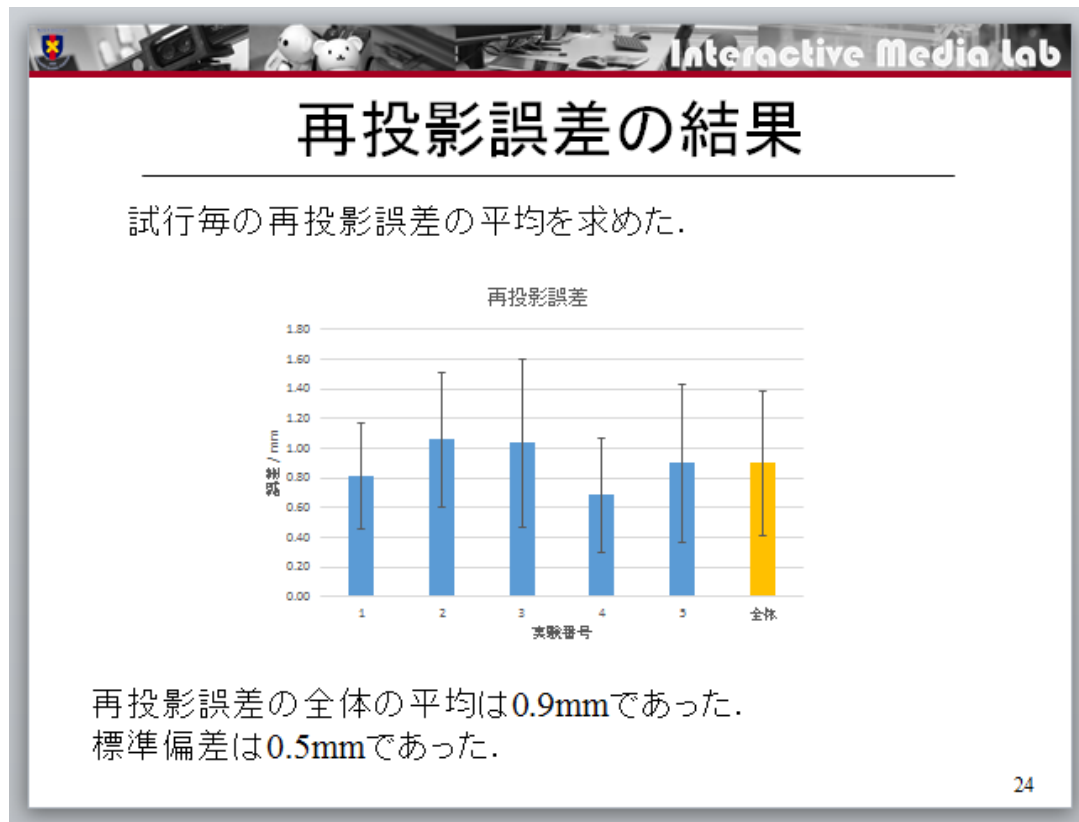
# 基本的な発表の流れ



※基礎輪講では背景と目的は含まなくてよい  
代わりに目次を入れるといい。

# 1ページの分量の目安

- 30秒から1分程度話せる分量
- 10分の発表なら15～20枚程度



# 読みやすいスライドに！！

---

1枚のスライドに文字を多く詰めると読みづらくなります。  
このスライドの様な、文字だらけのスライドを他人は読みたいと思うでしょうか？？例え読んでもらえたとしても、発表時にスライドを読んでいるだけでは、怒られる可能性があります。  
スライドには重要な情報だけを記入し、追加の内容は口頭で話すようにしましょう！文章は1スライド**2行～3行以内**にしましょう！

## 百聞は一見に如かず

分かりやすい図1つ作る方が、文章をつらつらと並べるより遥かに効率的です。読みやすく、内容を伝えやすいスマートなスライドを作りましょう！！

最初は先輩のスライドを見たり、アドバイスを聞いたりするといいでしょう。

# 良いスライドの作り方

---

- 1つのスライドの主張は1つ  
→言いたいことが複数ある場合は、複数のスライドに分けましょう
- 図やグラフを入れよう！
- 数式は極力のせない  
→のせる場合は説明が必要！！
- 小学生でも分かるような分かりやすい説明  
→専門用語は説明する！！

# 句読点

---

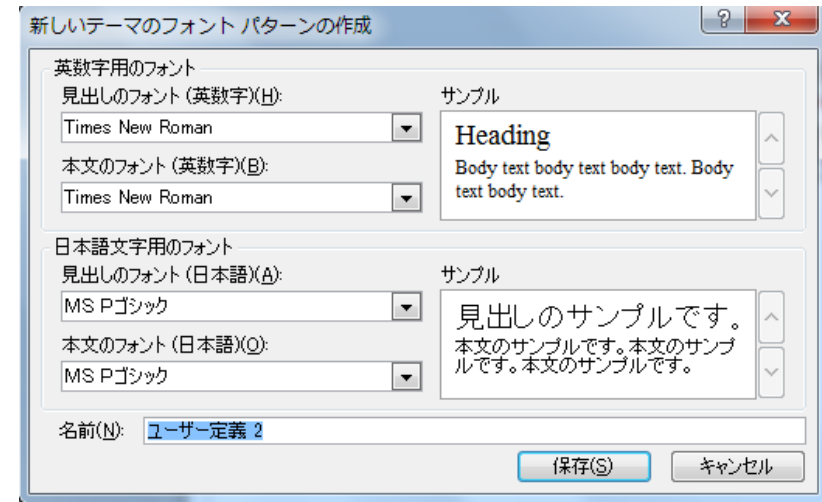
- 文の終わりには句点をつけましょう.
- 体言止めの場合は句点は不要
- 一文が長くなって改行を間に挟むときは  
読点は不要

# 文字サイズとフォント

- 本文の文字サイズは24～28が基本  
→小さすぎると読めず怒られます。
- 図のキャプションは文字サイズは18

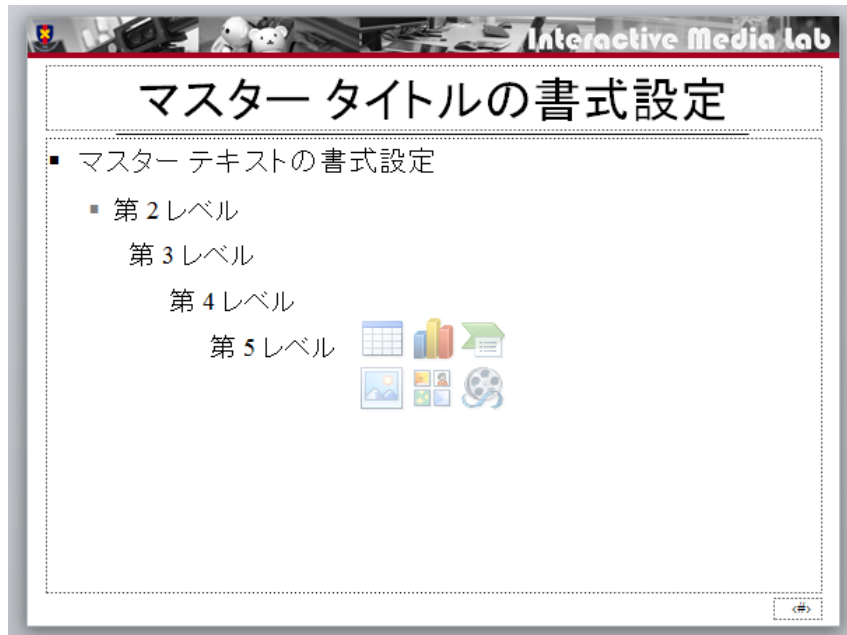
- 日本語：“MSPゴシック”
- 数式・英語：“Times New Roman”

- これらの設定はあらかじめ  
表示→スライドマスター→フォント  
→新しいテーマフォントパターンの作成  
で設定しておくと便利

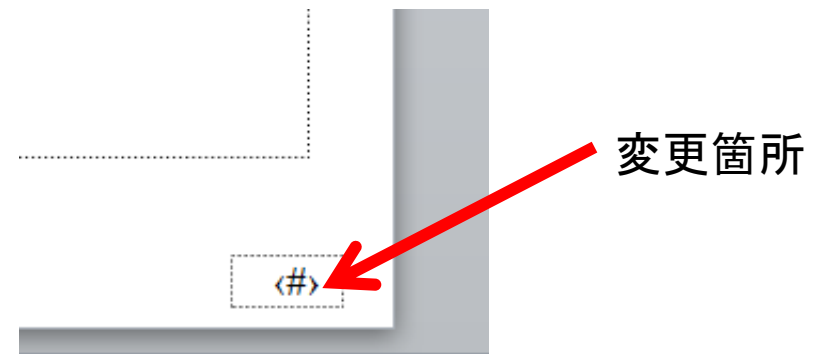


# スライド番号の表示

- ヘッダーとフッター  
→スライド番号をタイトル以外に表示
- 通常のサイズ, 色では見難いので変えること  
→スライドマスターで黒色とサイズを大きめに変える.



変更方法



# 画像の貼り方

- 図は大きい方が見やすい.
- 処理内容がわかるように, 必要箇所を拡大 & トリミングする



入力画像



出力画像(拡大2倍)



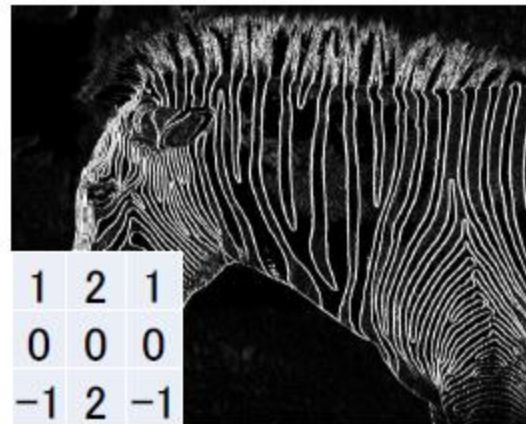
# 画像選び

- 処理内容がはっきりと分かる画像を選ぶこと

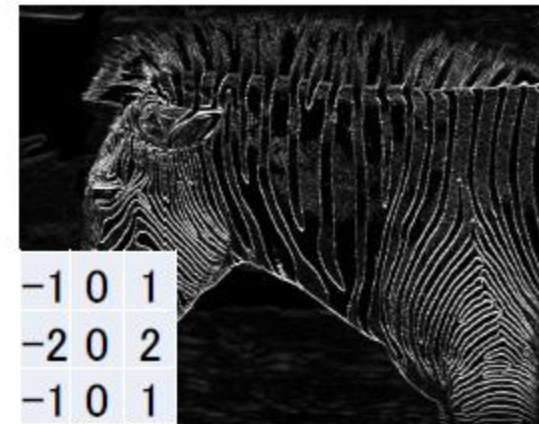
悪い例



原画像



ソーベルフィルタ(縦)

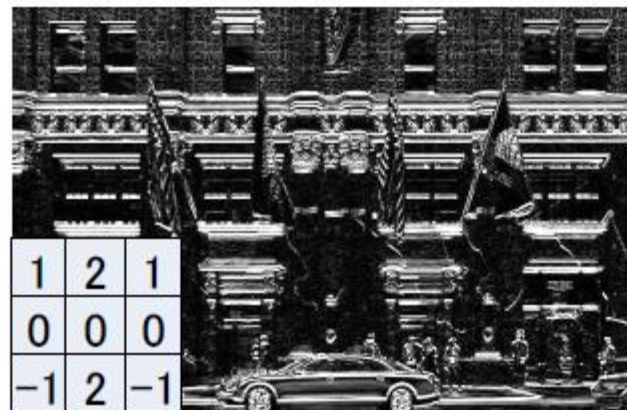


ソーベルフィルタ(横)

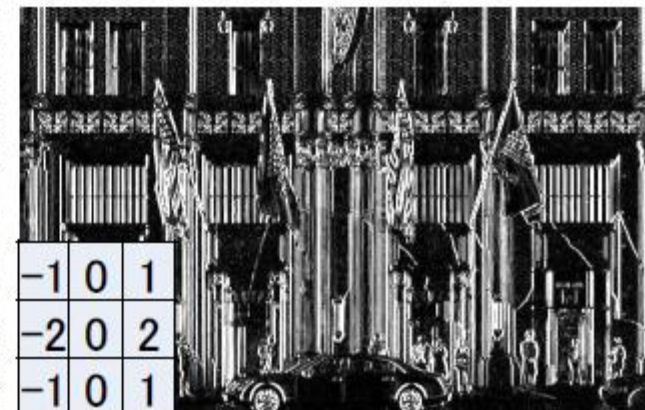
良い例



原画像



ソーベルフィルタ(縦)



ソーベルフィルタ(横)

# 結果の評価

---

- 定量的に評価
- 画像で示す

など基準をはっきりと

NG:良くなった, 早くなった, 美しくなった

# 補足：発表のルール

---

- 発表時間は10分
- 開始時に1鈴, 8分で1鈴, 10分で2鈴, 15分で3鈴
- $\pm 30$ 秒以内が理想

発表のフォーマットはあくまで基本なので  
 分かりやすい説明のためならアレンジを加えても全然OK！！

# 補足：細かい注意事項

---

- 箇条書きは項目が2つ以上のとき  
→1つのときは“・”はつけない.
- 改行は読みやすいようにきりのいいところで
- 数式は斜体
- 発表を通じて言葉の統一をとる  
ex: “画素”と“ピクセル”